

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

南相馬市・桜井勝延市長は かく語る

去る十一月五日、都内で開かれた『現場からの医療改革推進協議会・シンポジウム』で桜井市長が次のように訴えました。聴いて下さい。

「南相馬市では、地震と津波で約六五〇名が命を落とした。津波で
行方不明になった人の家族は、今日もまだ探している。東京ではそ
んな事は忘れられ、政治は収束と復旧が大事だと考えている。当初、
南相馬市からは六万人が逃げ出したが、現在までに約三万人が戻っ
ていない。放射能の地へ二度と戻りたくないのだ。」

震災直後、東電は自身がパニックとなり現場から逃げ出すことしか
考えなかった。それから今まで、被災した住民に対して、どこへど
のように避難すべきか、避難後はどのように再生すればよいのか等
について何の方策も示さず、ただ『お金』だけで解決しようとして
いる。住民が自分自身を取り戻し、人間本来の心を再生させるため
の配慮は何もなされていない。人間が人間らしく生きていくために
は心がしつかりし、自分自身がどういう方向性で今、生きていくの
かということが自覚出来なければ、幸せ感はない。政府も東電もこ
れについて今まで一切気を配っていない。

『お金』の問題ではない。いかに心を再生するかが最重要課題だ。
そのため出来ることを全てやって行くべきだ。それが現場を立て
直す力になるし、たとえ汚染されたといっても、自らの力で地域を
再生していく事に繋がるだろう。相馬は、重要無形民俗文化財『相
馬の野馬追(のまおい)』で世界に誇る町だ。原発二〇キロ圏内の
住民がいらないため、二〇キロ圏外の者たちだけで、縮小型になった
が今年も七月に野馬追をした。その際、『我々は絶対にここを再生
する』という強い言葉を聞いた。私は、彼らと一緒にこの地を再生
していかなければいけないという思いでいっぱいになった。
心が無くて再生できるはずがない。心を大切に、そして、その前提
となる『いのち』を大切に！と訴えたい。」

「当日のウェブ・サイト音声から文字起こしし、要約しました。
この言葉を重く受け止め、応援を続けていきたいと思えます。」

《脱原発を目指す女たちの会》・キックオフ集会

日時：11月23日(水・祝) ・ 開場・午後1時/開演・午後1時30分

会場：「座 高円寺2」(杉並区立杉並芸術会館内) JR中央線・高円寺駅北口徒歩5分

呼びかけ人：福島瑞穂・香山リカ・鎌仲ひとみ・雨宮処凛・上野千鶴子・羽田澄子・吉永小百合(賛同者)・他多数

話題の映画
いよいよ上映開始!

「アンダー・コントロール」

(ドキュメンタリー
ドイツ映画・98分)

11月12日(土)より4週間の上映予定 (連日 11:15/13:45/16:15/18:45)

「シアター・イメージフォーラム」(渋谷・宮益坂上=TEL: 03-5766-0114=)

ドイツでは、チェルノブイリ原発事故後、2022年を目途に国内32基の原発を全て廃棄することを決定。既に15基を解体しました。フォルカー・デッサル監督は、廃炉・解体作業の実際や作業員の様子等を3年がかりで撮影し、今年2月に公開しました。原発とは何か?今、私達にとって必見の映画です。

参加者約1100名
でした。12月に第7
回デモ。詳細は後日



★優しさは強さ。今日のデモに参加し、改めて感じたこと。
★主催者の皆様の細やかな配慮には、本当に心を打たれました。
★ツイッター・デモに参加する度に、びっくりするんだけど、「浴道からの声援」が回を重ねる度に増えていく。ベビーカーを押していたママさんが立ち止まって、「原発いらない!」ってコールしてくれた。
★世論だけでは政府は動かない。動かすための手段の一つとして、意見を表明する場であるデモは大きな意味を持つと思います。
★一人で来たけど、全く一人って気がしなかった。これなら誰でも参加できる。私もまた来る!原発をとめる!みなさん、ありがとう。

11月5日
ツイッター・デモ
参加者の声

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。